



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0169号 2024年3月27日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

たたかって仲間を増やす、1800人組合の実現 春の活動者会議を開く 3月24日



日本の労働運動は組織化が大きく立ち遅れています。コミュニティユニオン東京は今年前半に1800人を実現し、2000人への跳躍台をつくります。3月24日に東京土建中野支部会館で開いた「春の活動者会議」では、4月からの「春の拡大月間」の方針を確立し、支部活動と仲間づくりの取り組みを交流し学び合い、要求運動の前進と闘って仲間を増やす活動の強化をはかりました。午前には竹信三恵子さんが「労働者のいまと労働運動の役割 個人加盟組合はなぜ不可欠か」と題して講演、午後は基調報告と支部報告・交流をしました。参加は58人。
 写真 講演する竹信三恵子さん(ジャーナリスト・和光大名誉教授)

こみゅーとニュースなど、組合員の皆さんに、様々な情報をお知らせします。公式アカウントのお友達登録を、お願いいたします。

24春闘本番中央集会 3月7日 日比谷野音



日比谷野外音楽堂では、約2000人の仲間が参加する中央行動決起集会が3月7日、開かれました。すべての労働者の大幅賃上げ・底上げをしようとストライキを構えて、交渉力を高めていきましょう呼びかけられました。

LINE 公式アカウント

友だち募集集中

@667ckybg
LINEの「友だち募集」からID検索する
 QRコードをスキャンしてください

CU品川「新春の集い」開催 全国の駅弁食べくらべと 演奏で文化の香りが



2月18日のやや暑い日曜日の午後、25名参加で、結成して15年になる「CU品川新春の集い」を品川区中小企業センターで開催しました。当日は、費用を安く上げるため、執行委員4名が東京駅まで全国の有名駅弁を買い出しに行き、途中スーパーでお惣菜やつまみを補充して、会場に運び値段のついたまま並べました。1部は、本部の白滝書記長から挨拶と講演を兼ねて、春闘の情勢やCUの役割、具体的な労働相談の話を聞き、皆ビールや駅弁を前にしていても、真剣に聞いていました。

2部では、池野委員長の乾杯で始まり、その後、自分が選んだ駅弁の味と自己紹介を兼ねて近況を全員が報告しました。トラックドライバーのHさんは、会社に残業代の支払いを求め、回答を受けたとのこと。Yさんは、スマイルスクールで低賃金、人手不足の中働いているので大変だ。最近、パワハラ受け加入した女性Iさんは、楽しい集まりですねと。ヘルパーのIさんは近く他の事業所に転職を考えているが、迷っているので相談したいと。昨年ビアパーティで加入した3人は、「楽しいので参加した。会費千円でこんなに飲んで食べて、大丈夫なの」など話が出ました。

その後、組合員の仲間が組んでいるバンド「メンチカツ」の演奏があり、歌集も配られ3曲歌う中、「ふるさと」の演奏では2

名の女性が飛び入りで歌を披露してくれました。集いの最後は、恒例の「豪華でない賞品」が当たるくじ引きを行い、全員に賞品が当たり、白滝書記長は2等のサララップでした。

共闘・友好団体などとの懇談



3000人をめざす運動での協力と共同の要請を、行っています。

2月20日 東京土建本部、3月11日 東京地評、3月13日 新婦人本部と懇談をしました。CU東京が、非正規雇用労働者の組織化に力を入れ運動をしている事や個人加盟労働組合と社会運動の関連について話されました。労働相談の対応についても話されました。今後順次懇談を持っていく予定です。

組合員規約の改正検討作業

2月21日に第3回の委員会を開催しました。主に、支部・協議会の定義と運営、専門部（委員会）の位置づけ、組合費の扱い、争議解決寄付の規定等を議論しました。次回は4月9日です。



《女性会議》

葛西臨海公園の水族園の再整備を 考える学習交流集会



2月22日、CU東京女性会議は、葛西臨海公園の水族園の再整備を考える学習交流集会に、前日は暖かだったのに、当日は寒い雨の中、9人が集まりました。

世界初のクロマグロの群が泳ぐ展示、600種を超える海の生き物と出会える水族園として、多くの人たちに親しまれ、年間140万人もが来場している葛西臨海水族園です。

施設の老朽化とバリアフリー対応、飼育環境の整備を理由に建て替え計画が決まりました。都民の憩いの場であり、生物多様性を体験する貴重な場である都立公園と葛西臨海水族園が、これからも役割が果たせるよう、整備事業について見学をしながら考えました。案内は都議会議員の原純子さんに引き受けていただき、バックヤードなども見学することができました。

建て替えに伴い、1400本の樹木の伐採が心配です。また、淡水園を壊して、新しい水族園をあてる計画ですが、淡水園は何年もかけて、自然に近い水際ができています。水族園で一番



癒される場所でもあります。都民の声も聞かずに、建て替えを進めてよいのでしょうか。

小池知事の都政は、本当に都民の私たちの声を聞いているのでしょうか。今年は都知事選挙です。見学しながら都政のことを考え交流しました。

東京地評女性センター 2024春闘単産・地域学習交流会

2月23日(金・祝)、「人権侵害のハラスメントは許さない 労働組合の力でハラスメントのない職場を実現しよう」をテーマに、東京地評女性センター24春闘単産・地域学習交流会をラパスホールでリアル開催し、CU東京からもユニオンちよだ、渋谷支部、あだち支部、文京支部、三多摩協議会から、参加があり、単産・地域から35人が参加しました。

はじめに、主催者を代表して、結城裕子議長があいさつをしました。

ミニ学習会は、「職場でハラスメント根絶運動をすすめるための問題提起」について、全労連女性部長の舟橋初恵さんがお話しました、

①いかにハラスメントが多いか、全労連女性部の調査結果や厚労省の個別労働紛争解決制度の施行状況について

②私たちにできること、組合にできること

③ハラスメント禁止条約批准、禁止法制定について」等を説明しました。

「ハラスメントについて、組合として学び、討議し、どのようなことが該当するかを組合で共有すること。アンケート実施などで実態を把握し、対策・対応を組合で検討し、会社に事実確認、対応を求め、再発防止策を要求することで根絶につなげよう」と話を締めくくりました。

特別発言として、全印総連の小澤晴美さんから、MICのハラスメント防止・根絶の取り組みについて企業に根絶宣言をあげてもらうため、粘り強く働きかけている取り組みを報告してもらいました。

春闘方針について、菊池友里事務局長が提案し、拍手で採択しました。また、JMITU小坂研究所支部の23春闘のたたかひの記録YouTube「#ストライキをやってみた」を鑑賞しました。

お楽しみ企画は、ビンゴゲームを実施しました。

その後、全印総連、医労連、全国一般、ユニオンちよだ、CU東京、新宿区労連、東京自治労連の参加者から、春闘の取り組みやハラスメントについて発言がありました。

参加者から、「舟橋さんのお話は分かりやすく、ハラスメントの多さにびっくりしました。データを突きつけることで、上の人たちも分かってくれるのではと感じました。医労連が取り組



んだキャンペーンポスター(あなたの職場は大丈夫ですか)を学校にも貼りたいです」「誰でもハラスメントを行ってしまう。日々自身の言動はどうかと振り返らなければならないですね。その観点から人権に対するしっかりした考えを持たないとならないと思いました」「女性の働き方に合った要求を掲げているので、単組でも取り組みやすい内容だと思いました」などの感想が寄せられました。

鳥山明さんが亡くなった。デビュー当時は読んだが、こんなにも世界的な作家だったのかと不明を恥じた。「ドラゴンボール」は世界中に夢を与え、ゲーム・ドラクエは東京五輪の行進曲に使われた■ゲーム業界が不振で、デザイナーからリストラの相談があった。長年の派遣と契約社員を経てようやく正規になって数年で解雇。産業が構造変化しているという。結果的には会社から仕事を請ける「独立」の道を選んだ■日本のアニメや特撮の優秀さは今回のアカデミー賞でも際立った。制作費の安さも注目された。アメリカの20分の一にもならないこととハリウッドの労組のことが話題になった。賃金・権利・労働時間がしっかり守られていることが制作費に反映している■労働者をコストと捉え、労賃を固定経費削減の対象とする日本の財界。コロナ禍では、これ幸いとリモートワークを進め、会社には個人の決まった机も無くし、労働時間管理を曖昧にしたまま法規制から除外しようとしている。安く使い捨ての労働では、日本の優れた創造性が失われる日は近い。

